



2008全日本大会(3.5MHz)での私の判断と行動



2008年10月25日(土)
於 鹿児島県霧島

安島 巧

初めに

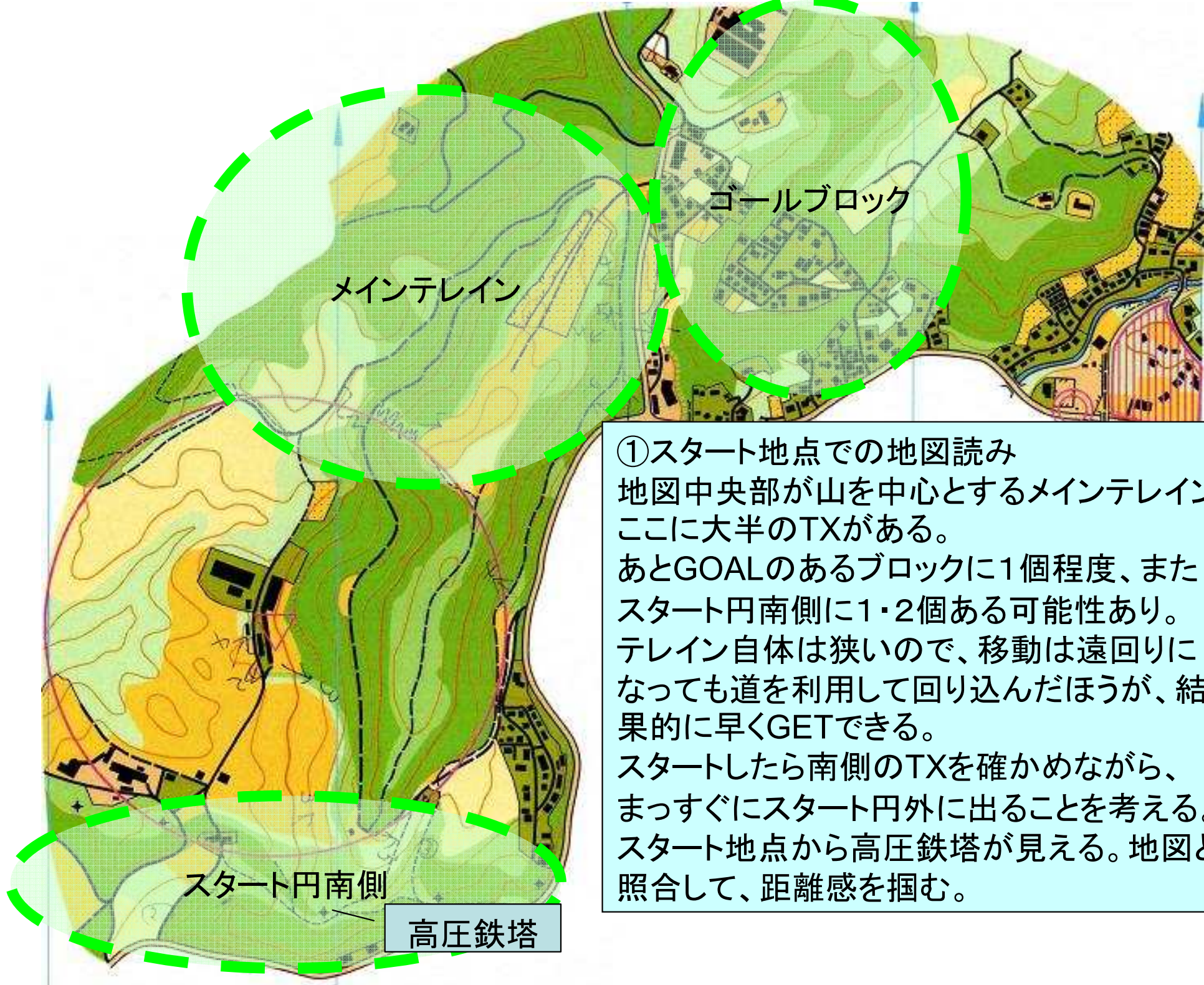
このドキュメントは、ARDF競技に参加したときに、私がどういう場面でどういう判断をしたかを記憶を頼りに記録したものです。

従って、「こうすべき」という正解を記載したものではありません。

ARDFに参加した一競技者の話として、主に初心者の方々の役に立てられればと思って作成いたしました。

あなたならどう攻めますか？





メインテレイン

ゴールブロック

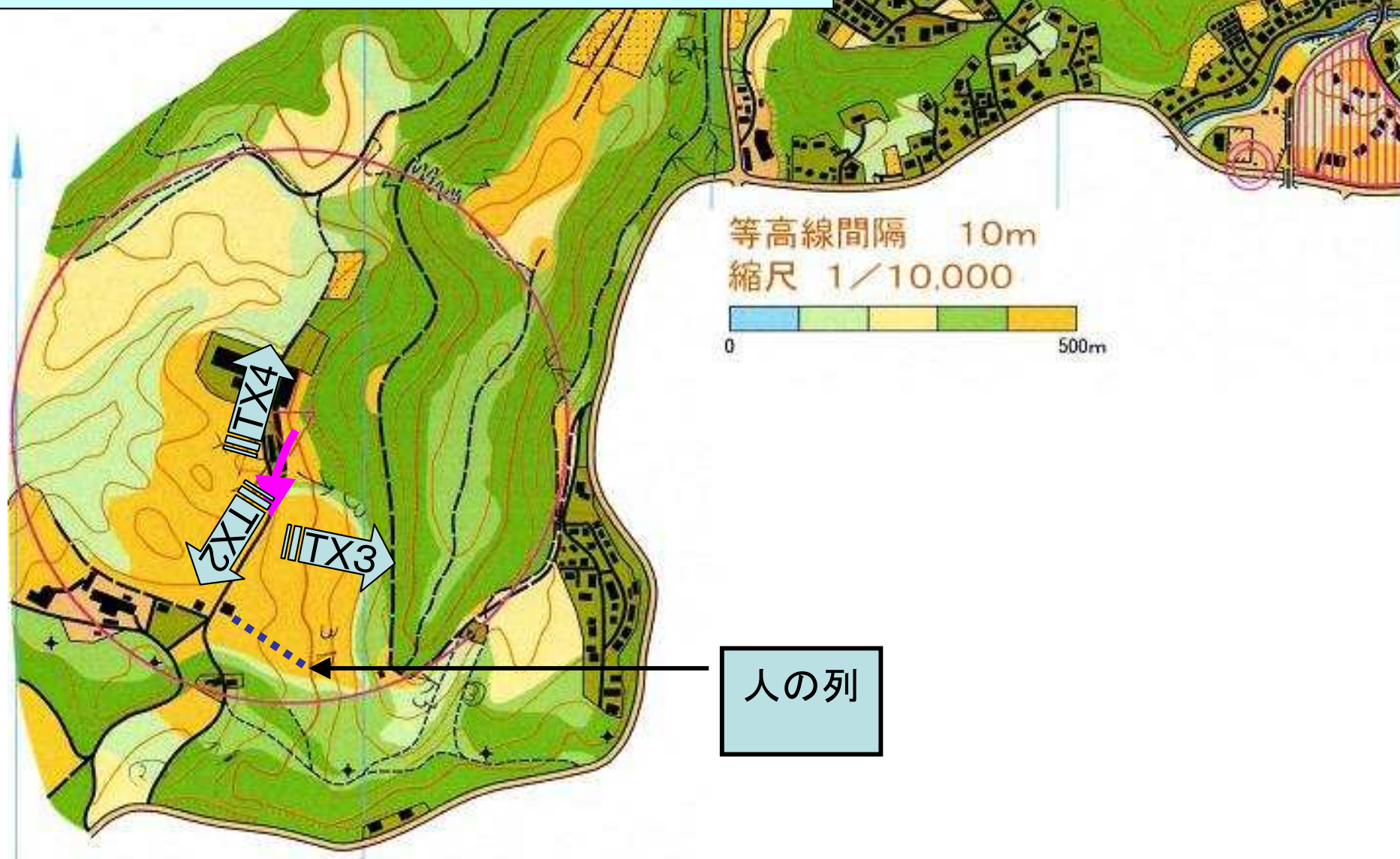
スタート円南側

高圧鉄塔

①スタート地点での地図読み
地図中央部が山を中心とするメインテレイン、ここに大半のTXがある。
あとGOALのあるブロックに1個程度、またスタート円南側に1・2個ある可能性あり。
テレイン自体は狭いので、移動は遠回りになっても道を利用して回り込んだほうが、結果的に早くGETできる。
スタートしたら南側のTXを確かめながら、まっすぐにスタート円外に出ることを考える。
スタート地点から高圧鉄塔が見える。地図と照合して、距離感を掴む。

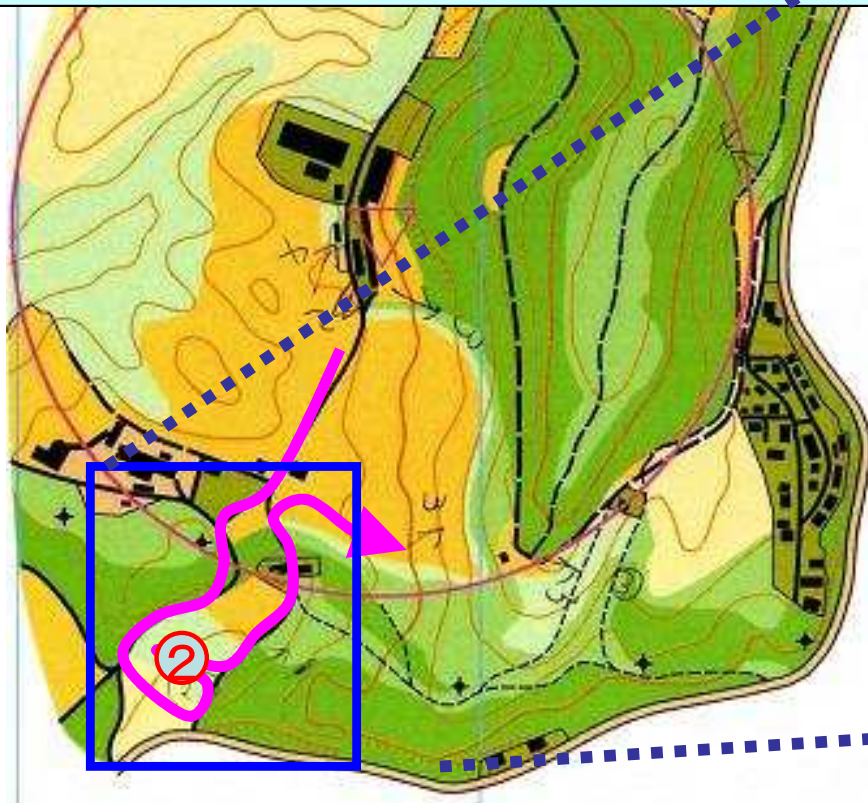
②探索開始地点

スタート円の南側はTX2と3。TX2の方が強い。
TX3方向に向かって大勢の人が草原を登っていく。
自分は自分を信じてTX2方向へ向かう。
TX2は道路方向に対して若干右より(西より)に聞こえる。従って西側の道路へと進む。



③TX2

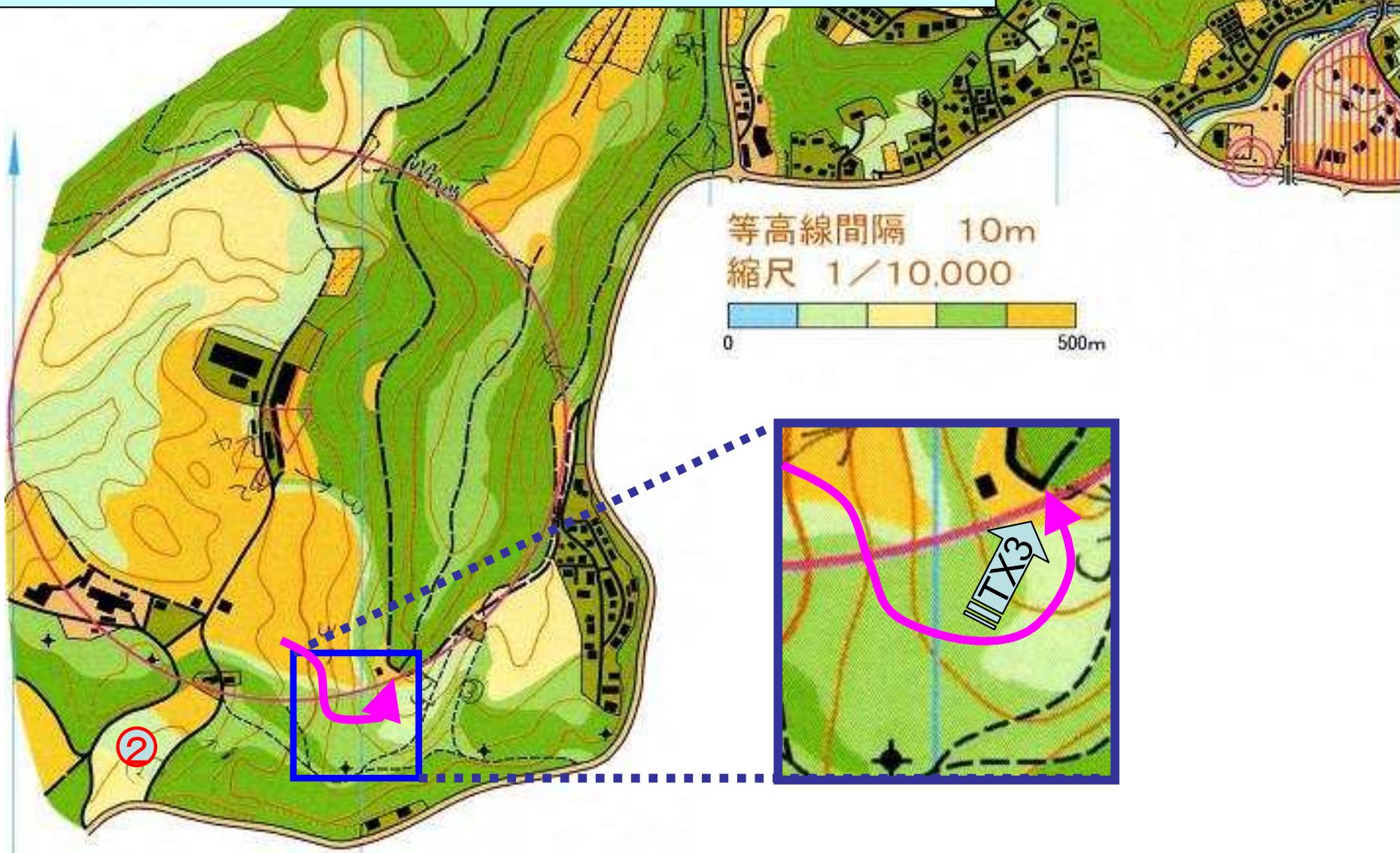
交差点付近に来たところでTX2が鳴く。もう一本東の道方向だ。ショートパスしながら東の道へでたところで停波。数人が森を出入りしている。しばらく周辺を目視探索し、人がいなくなったし、まだ時間があったので、森に入ってみるとあった。TX2ゲット。TX3へ行く小道付近に来たが、草木が生い茂り道とはいえない状態。安全策を取り、みんなが登っていた草原コースへと進む。



みちがよくわからない

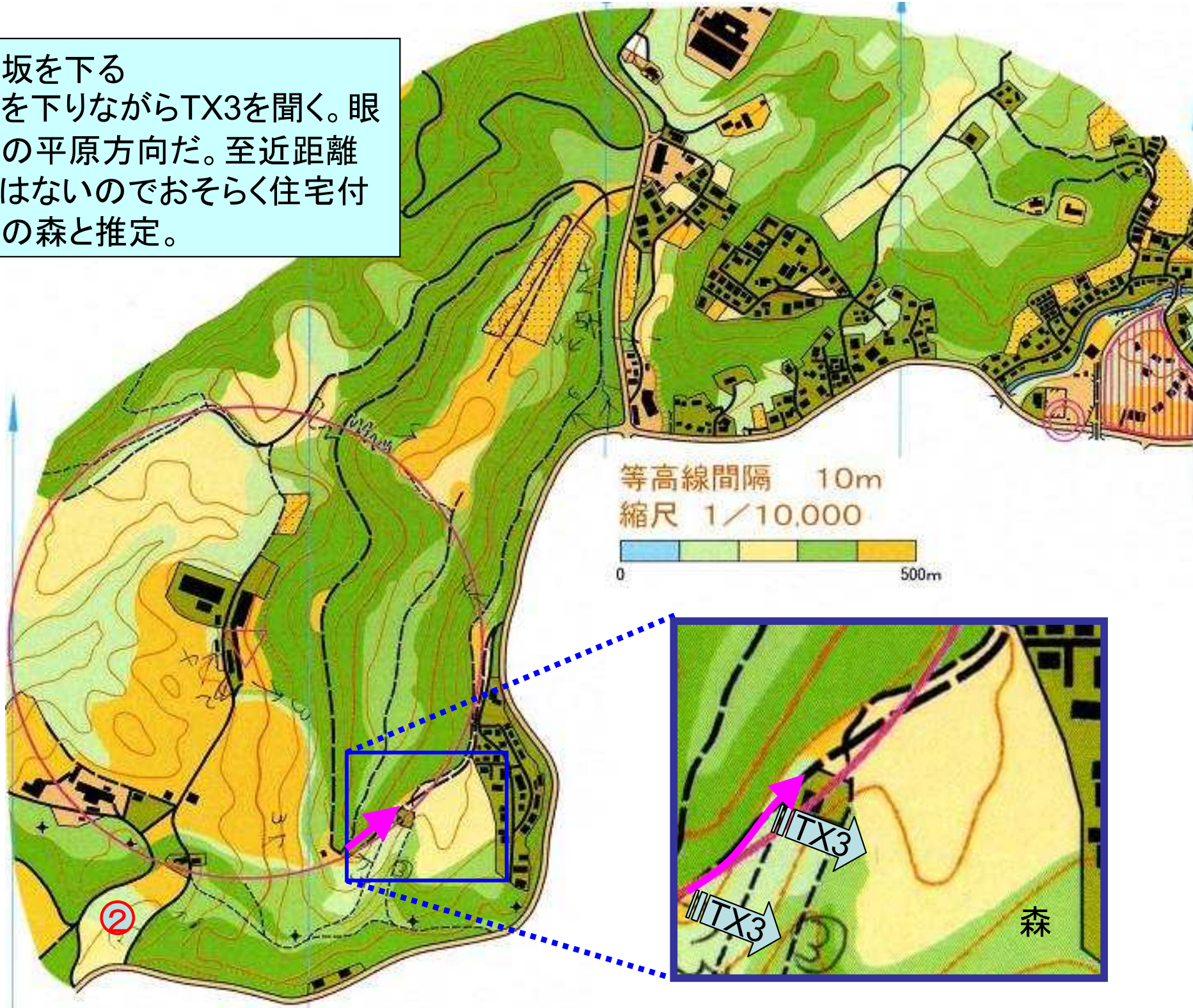
④草原コース

草原コースをどんどん登り鉄塔付近に到達。小森田さんがいた。TX3が鳴いたので北方向へ登るが完全に高い藪で周りの景色も見えない。とにかく尾根を思われるところを、西に進み、ようやく道に出る。



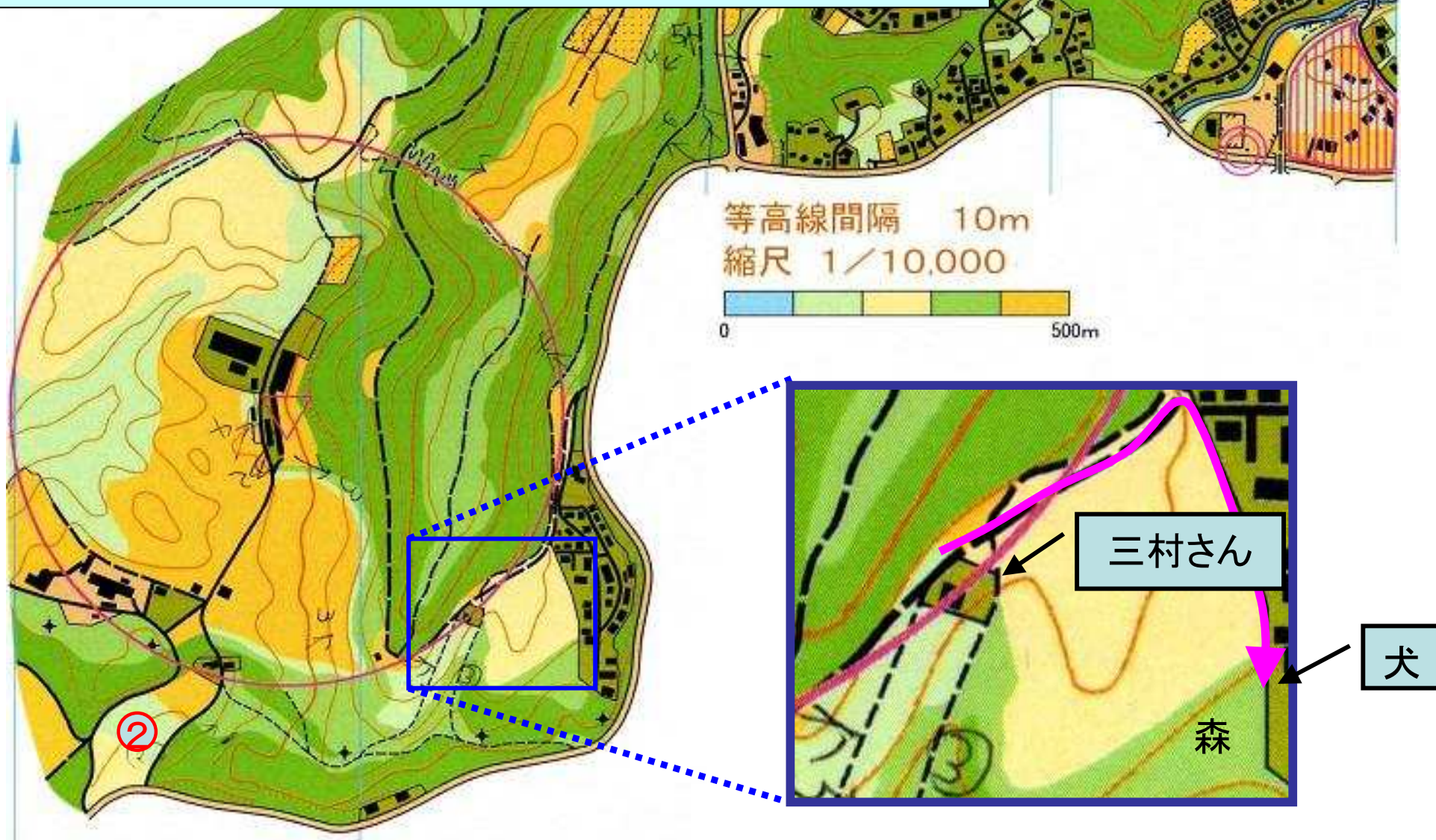
⑤坂を下る

坂を下りながらTX3を聞く。眼下の平原方向だ。至近距離ではないのでおそらく住宅付近の森と推定。



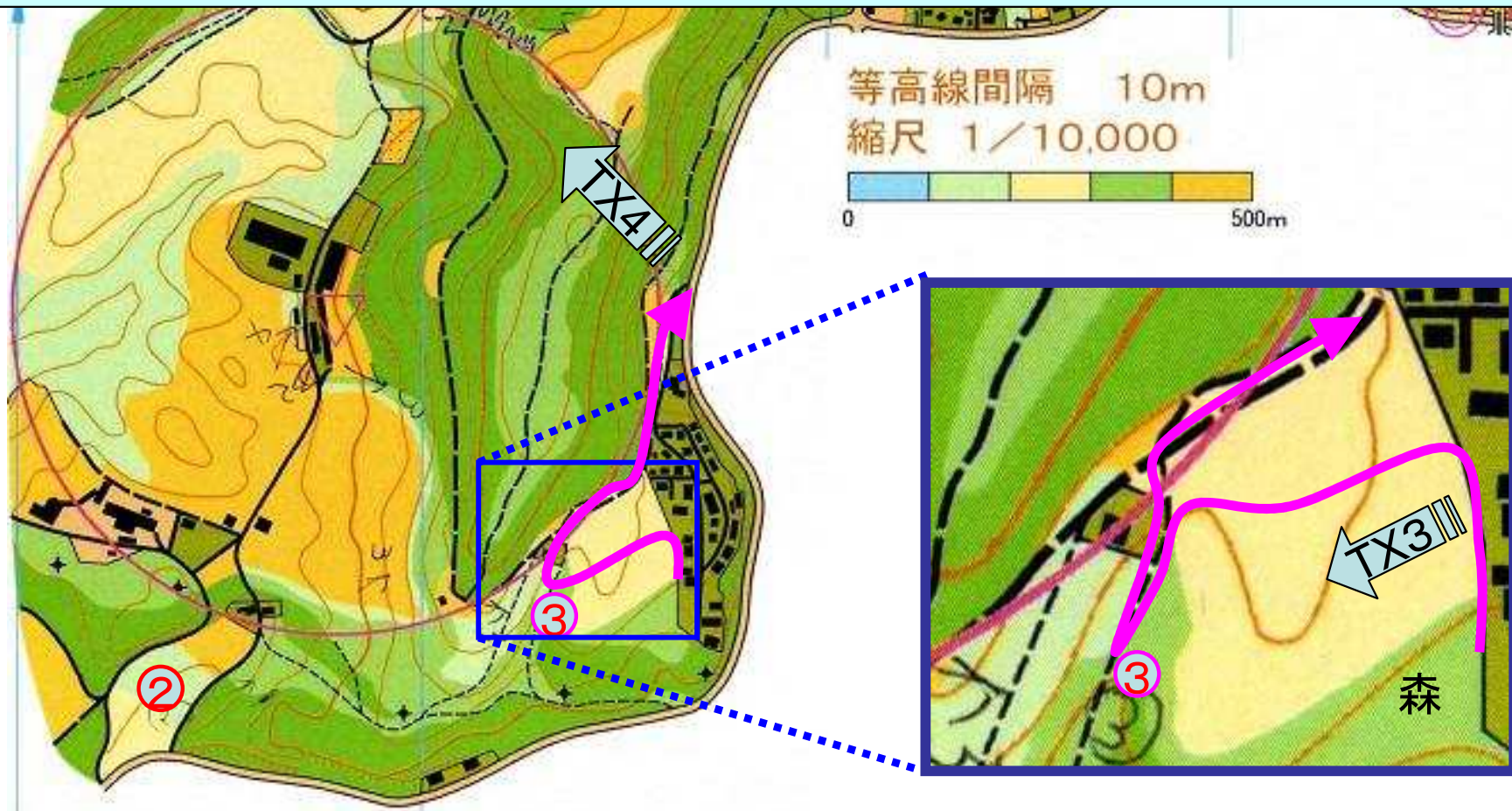
⑥住宅

坂を下りると南への小道の入り口に三村さんがいた。自分はまっすぐに住宅方向へ。住宅奥の森へ行く道は住宅の脇。全日本大会レベルでこんな住宅至近の道にTX設置はまずありえないと思いつつ進む。最後は庭先で犬がいた。これでここにはないと完全に確信し戻る。



⑦TX3

戻る途中でTX3が鳴く。平原の反対側だ。草木の高さとアンテナの高さから考えて、まず平原内にはない。そのままTX3の方向に藪を書き分けまっすぐに進み反対側へでた。さっき、三村さんがいた小道だ。森っぽいところに入り目視探索。あった。TX3ゲット。三村さんが小道を下から上がってくるのが見えた。
さて、次はTX4。戻って山に登るか、地図東側の車道を北上するか。結局車道を選ぶ。道がなくなっている可能性のある山道より、確実に進める道をすすみ、途中の方探で2点測位ができるからだ。でも本当の理由は登るのがかかったらから。
TX4は山の上のほうらしい。







⑨TX5

TX1が結構近い。これはちょっとびっくり。
TX4はやはり山頂方向だが、信号強度から
行って山頂を越えた九十九折(つづらおり)付
近と推定。交差点に来たところでTX5が鳴く。
至近距離だ。自分はTX5は関係ないが、道を
走りこみながら方探し、おおよその位置を目
星つけた。その方向に向かって軽い藪を進ん
でいき、TX5ゲット。



⑩山に登る
ただひたすら山を登る。山頂直前でTX4が
鳴く。しまった。山頂でその時間を迎えた
かったのに。
九十九折を恐る恐る降りる。ここで見逃し
たら大変なことになる。坂道を登らなけれ
ばならないからだ。



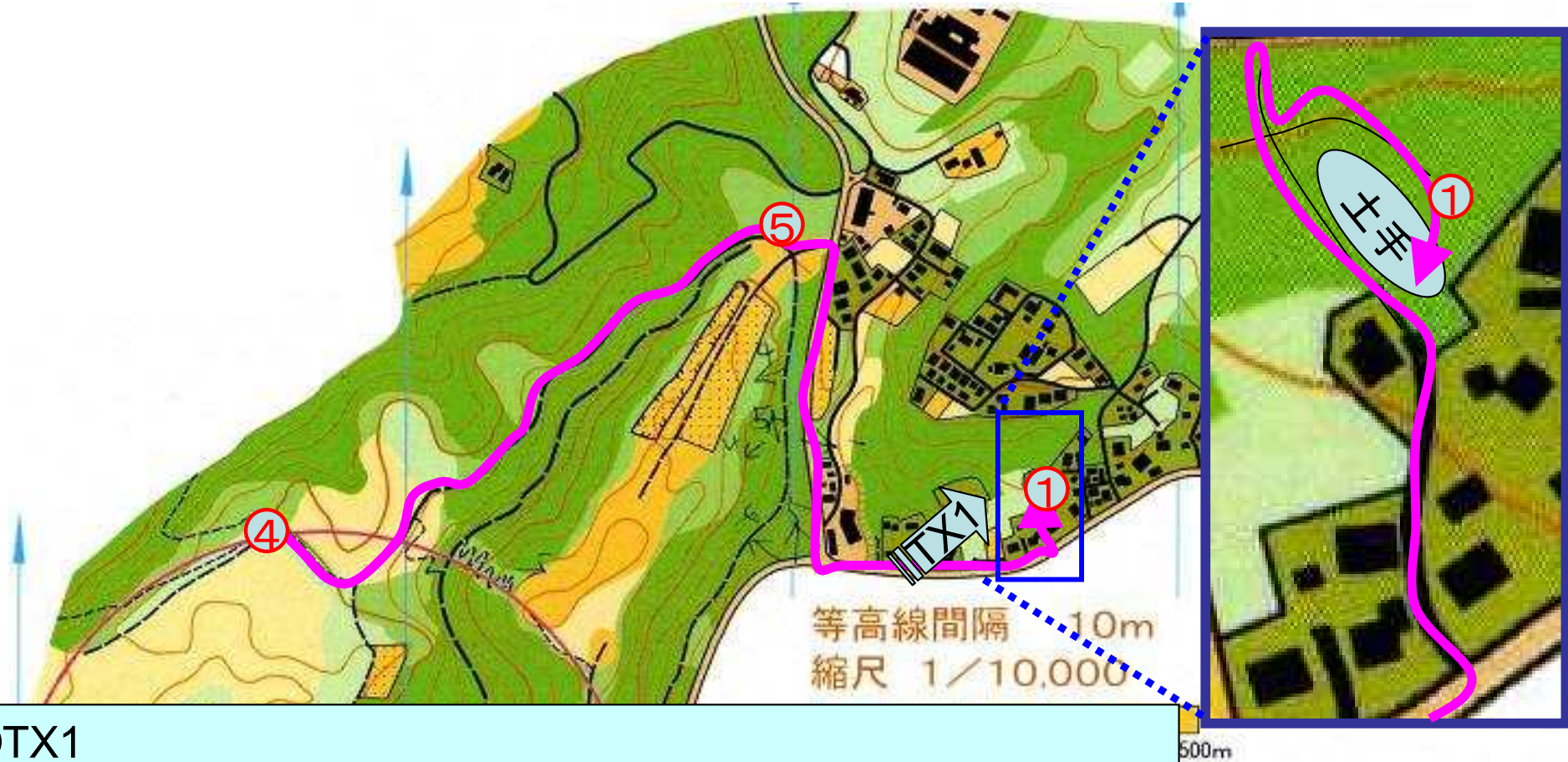
⑪ 恐る恐る

TX4が鳴く。強くて下方向。急いで降りたいが下り坂なのでスピードは出ない。停波の後はゆっくりと、人が入れそうなところは覗いて目視確認しながらゆっくりと降りる。そんなことをしているうちに下道についてしまった。またTX4が鳴く。さらに下方向だ。でも下手をするとスタート円の中。ここもあたりを見渡しながらゆっくりと進む。さらにもう一本下の道にでてしまった。えっまだ？降りられそうなところがあったので、少し下に降りてみたところでTX4が鳴く。平原の向こうだ。でもスタート円内？地図を良く見ると円外に少し道がはみ出している。ここだ。



⑫TX4

分岐のところで清水さんに抜かれる。さすが、清水さんは軽い足取りだ。おそらく設置場所はスタート円に近い微妙なところだ。となると確実に円外であるためには、地図上の位置が明確にわかる場所、このケースで言えば円外にしろうじて出ている交差点だ。交差点でキョロキョロしてゲット。奥の藪の方から清水さんらしき人がガサガサとこちらへ近づいてくる気配がした。自分は次のTX1だ。



⑬TX1

ひたすら道に戻って車道をGOAL方面へ進む。
TX1が鳴く。道左側の住宅地の奥のようだ。入れる道を探して入る。右の土手に地図が落ちている。誰かが土手を降りるときに落としたのであろう。そのまま奥の竹やぶに進み目視探索するが見当たらない。もうすぐTX1の時刻だ。先ほどの土手の上のほうから清水さんが現れ、道を降りてくる。自分はすれ違いに高い土手上へと進む。TX1が鳴く。至近距離だ。TX1ゲット。土手の下から上がってこようとする清水さんの気配を感じながら、自分は土手を降りる。ちょうど地図が落ちていたところだった。



おわり





反省

TX3→TX5→TX4と回ったが、TX3→TX4が正解。結果的にいえば、東の車道に下りずに、山方向へ戻るべきだった。しかし、車道に出るときの判断は今でも正しいと思っている。となると間違いはどこか。

それはTX2→TX3の途中で藪から道に出たところの高台でTX4を方探できていればよかったのだ。しかし、あそこでTX3が鳴いたらどうしても坂を下ってしまう。TX4よりTX3が先に鳴くので仕方が無い。となるとスタート直後の探索開始時点の方探か。いや、それだけでTX4の位置を特定するのは難しい。となると小森田さんと出会ってTX3を目指して藪に入ったときだ。だがあそこではTX4は見通せなかった。でもそこでしっかりと方探していれば結果は変わったかもしれない。やはり、ターゲットTX以外のTXもしっかりと方探すべきということだ。特に高所にいるときは。

